

# デバイスを活用したサービス産業の 高付加価値化について

平成26年3月  
商務情報政策局

# (1) 先行するグローバル企業の取り組み

- アマゾン、アップルなどのグローバル企業は、「デバイス」と「サービス」を組み合わせ、顧客に付加価値を提供する「システム」を構築し、ビジネスを拡大。
- 我が国のサービス産業においても、デバイスとサービスの組み合わせによるビジネスの革新が必要となっている。

## サービス事業での「デバイス」の活用 ~アマゾン・ドット・コム~

ネット流通サービスの拡大(電子書籍市場の創出・拡大)のために、独自のデバイス(電子書籍リーダー)を提供。



Kindle Paperwhite

## デバイス事業での「サービス」の活用 ~アップル~

デバイス(iPod、iPhone、iPad)の販売増のために、独自のプラットフォーム(Apple Store)を通じたサービス(音楽配信サービス等)を提供。



iPod classic

iphone5S

iTunes

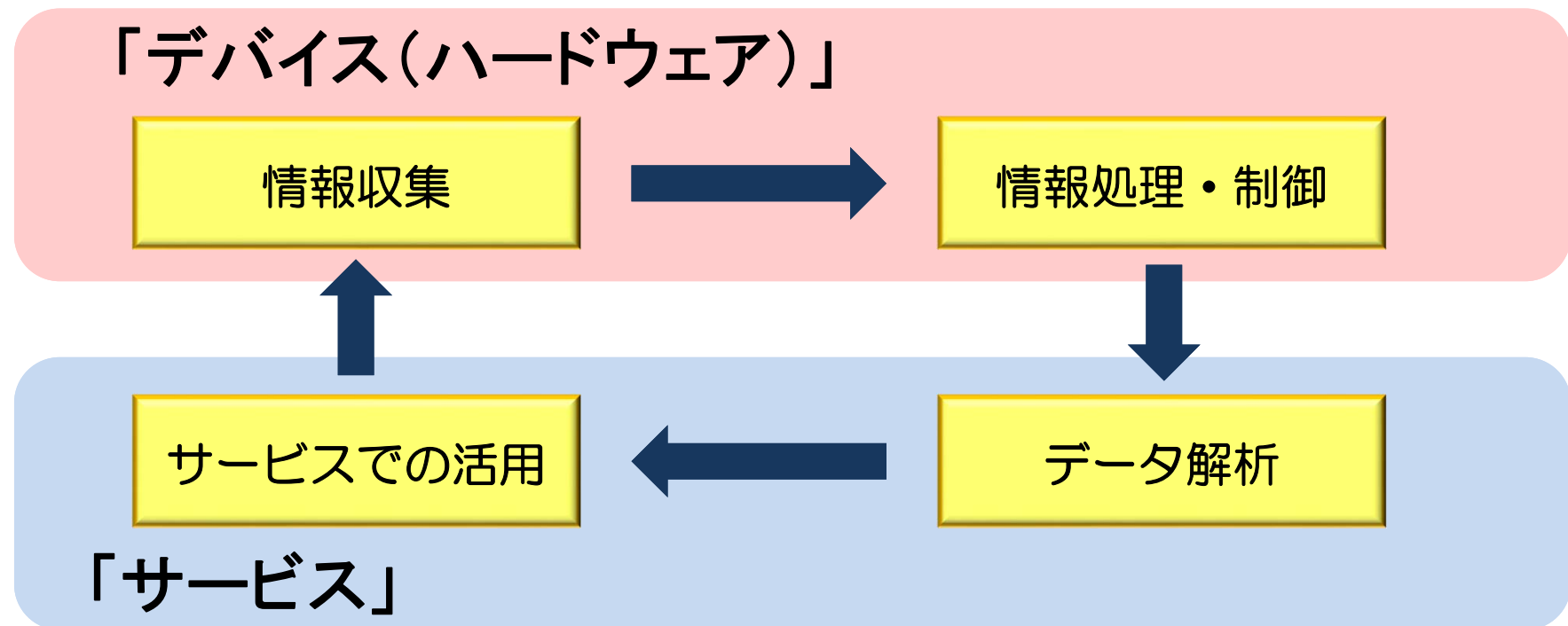
(各社ホームページより)

## (2) サービス産業におけるデバイスの活用

- 技術革新によるデバイスの高性能化（高速化、小型化、省電力化など）、ネットワークの高速化・大容量化により、多種多様・膨大な「情報」を収集・分析することが可能に。
- サービス業の現場においても、デバイスの利用で得られる情報をマーケティング等に活用することにより、サービスの付加価値の向上（質の向上、新サービスの開発・提供）を図るビジネスモデルが拡大しつつある。

(※)デバイス

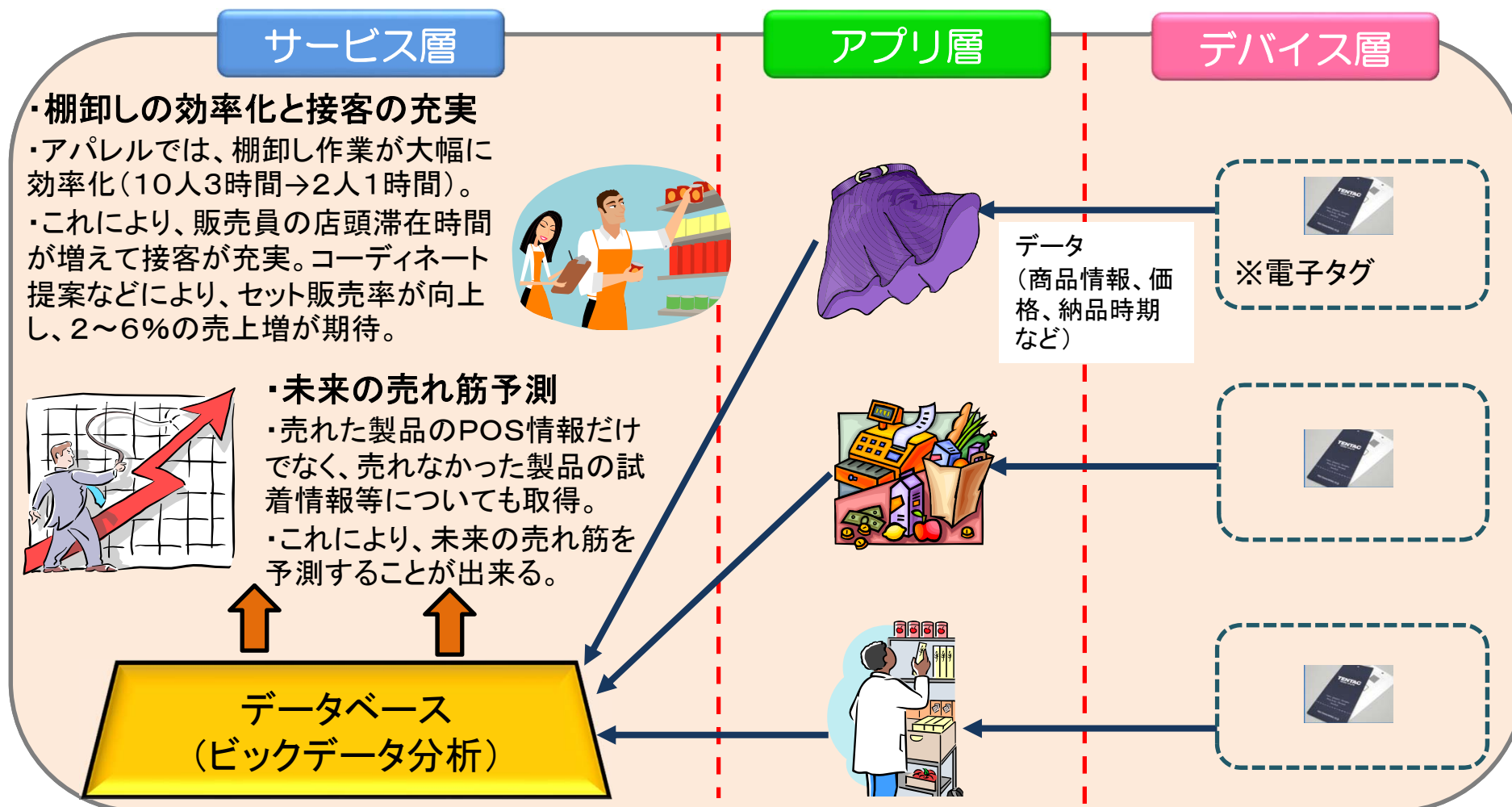
半導体（例：画像センサー）、電子部品（例：電子タグ）等の「電子デバイス」に加え、ここではスマートフォン、タブレット等のIT装置・機器も含むものとする。



### (3) デバイスを活用したサービス事例①

#### ～電子タグを活用した店頭サービスの革新～

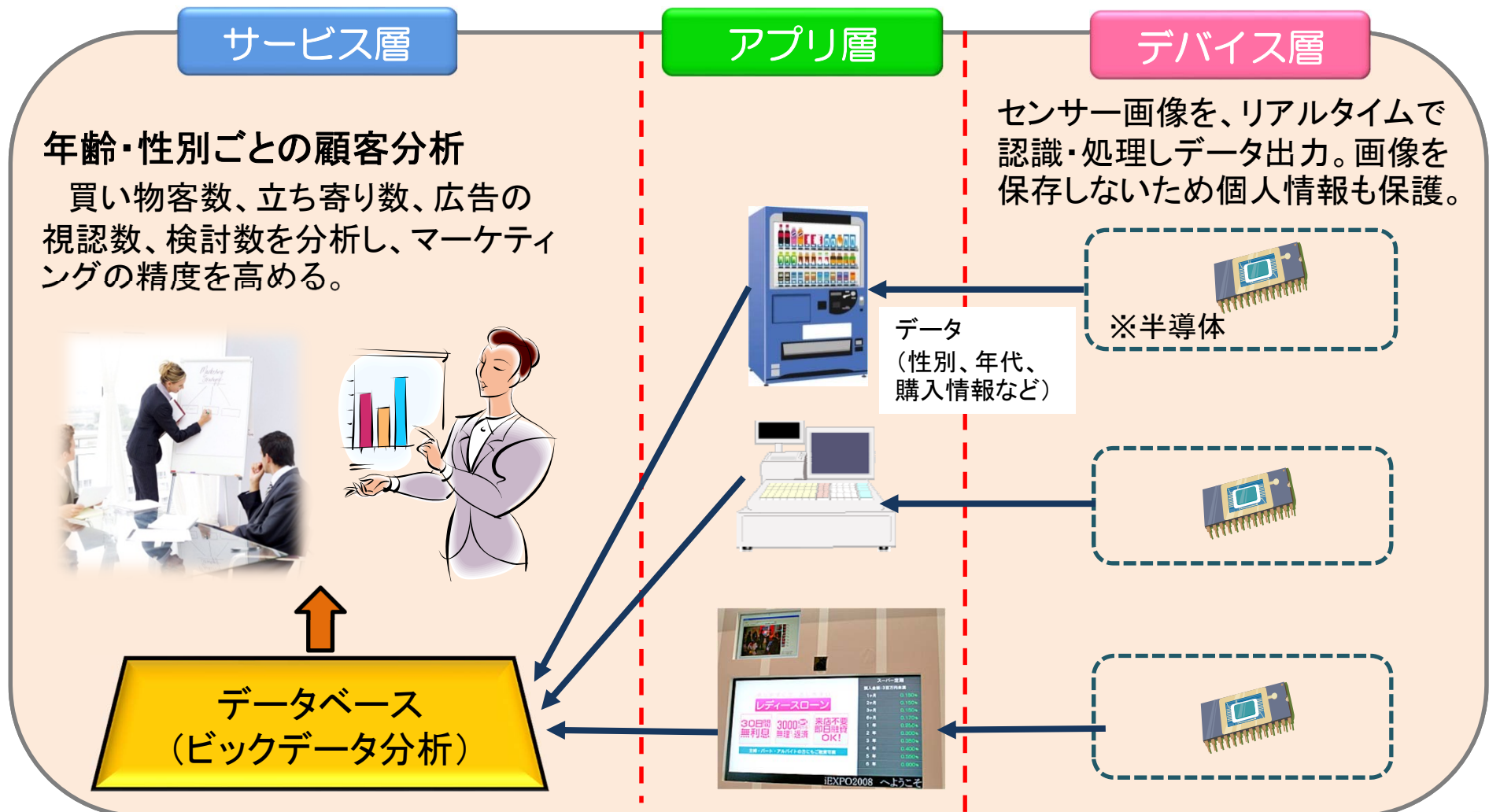
電子タグ (ICチップとアンテナを内蔵したタグ: 電波で簡単にチップ内の情報を読み取ることが可能) を活用して、製品管理の大幅な効率化や取得データを活用したマーケティングを実施。



### (3) デバイスを活用したサービス事例②

#### ～年齢・性別推定センサーを使用したマーケティングの革新～

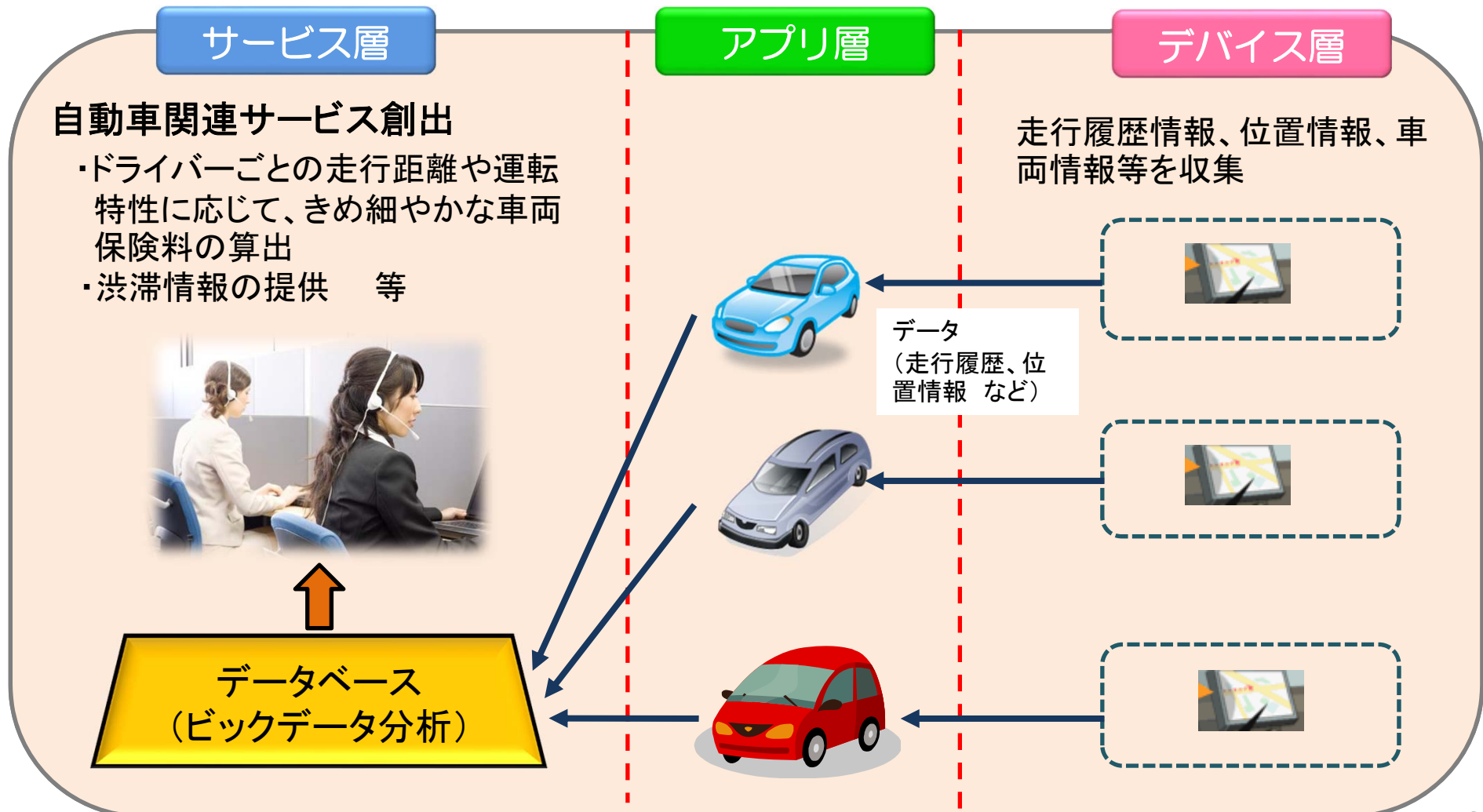
カメラと一体になった超小型センサーで、顔の特徴から年齢・性別を推定。リアルタイムで精度良く収集したデータを分析して、マーケティングに活用。



### (3) デバイスを活用したサービス事例③

#### ～自動車に搭載されたセンサーを活用した自動車関連サービスの創出～

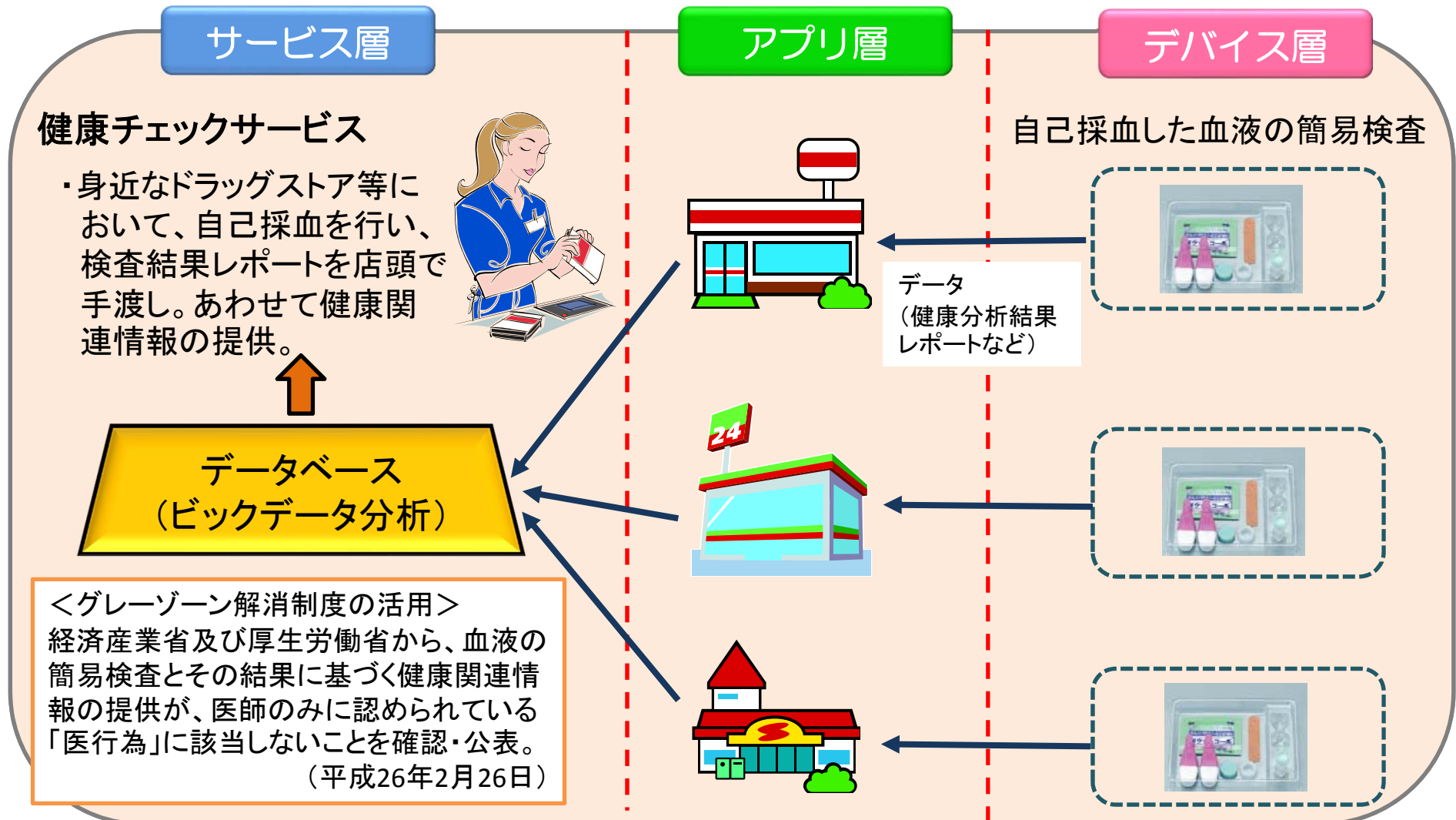
車載センサーから得られる走行履歴情報、位置情報、車両情報等から、自動車保険への応用や道路情報の提供に活用。



### (3) デバイスを活用したサービス事例④

#### ～自己採血キットを活用した健康管理サービスの提供～

自己採血キットを活用して、自己採血した血液による簡易な検査を行うことで、検査結果を通知する健康管理サービスを提供。

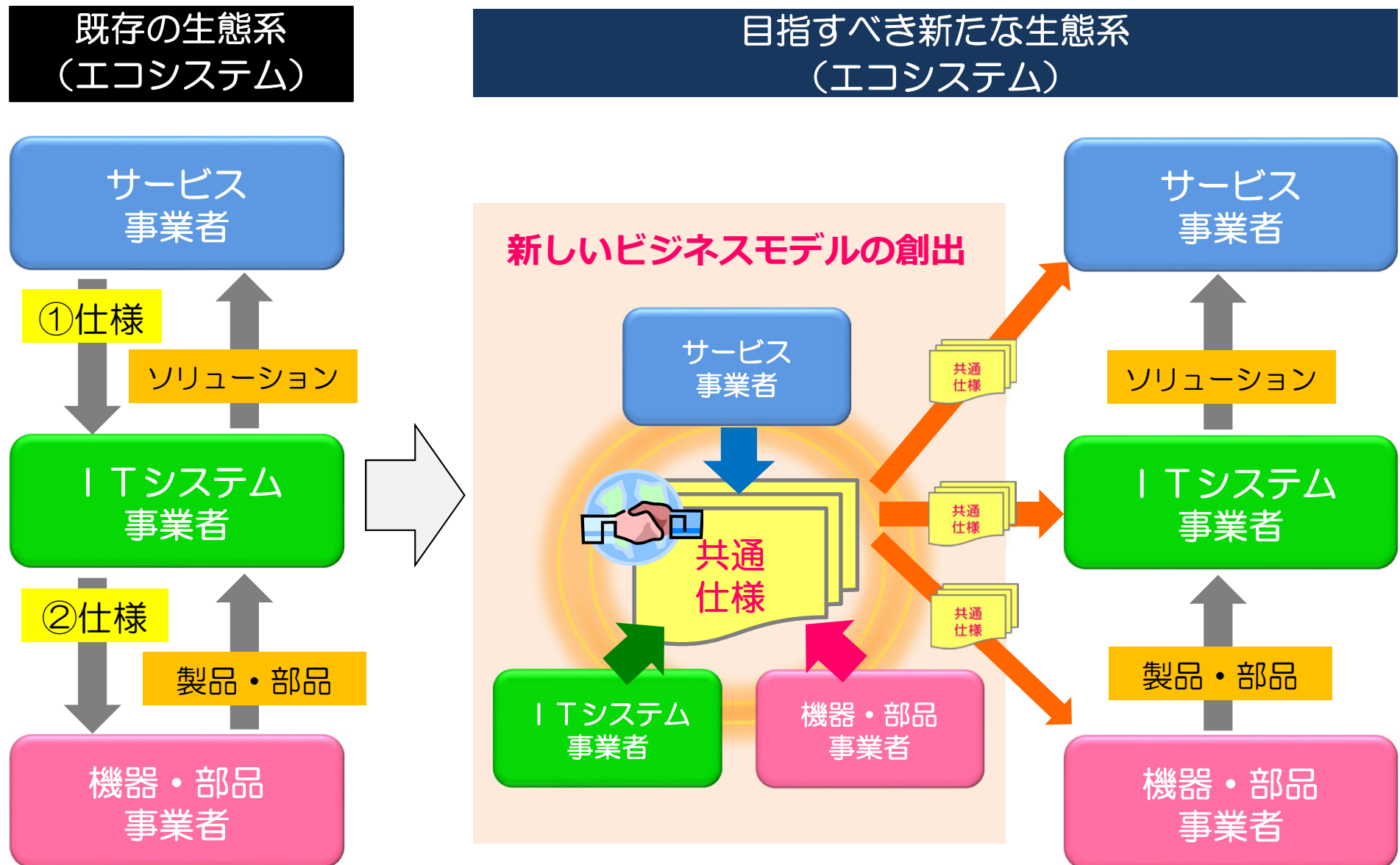


## (4) サービスとデバイスの連携の重要性

- 新しい技術(デバイス)がビジネスに活用される上では、まず優れたビジネスモデルやソリューションの存在が必要。
  - 新たなサービス産業を切り開くサービス事業者には、それを実現する技術を持つデバイスメーカーとの連携が不可欠。
  - また、デバイスメーカーには、特定のサービス事業者からの仕様提示を待つのではなく、ビジネスモデル全体を踏まえた、グローバル展開可能な汎用性のある技術提案が求められる。
- ➡ 「サエ連携」(サービス事業者とデバイスメーカーとの連携)の重要性が益々高まっている。



# (参考) サービス事業者とデバイスメーカーとの連携促進



## (5) 今後の政策の方向性 (案)

- 「モノとサービスの協創」により、新たなビジネスモデルが生まれ、グローバルに広がっていく環境を整備すべきではないか。
- 従来にはないサービス事業者とデバイスメーカーとの連携を促進するため、連携による成功事例の蓄積と共有が必要ではないか。
- デバイスを活用した新たなサービスを創出する企業(中小ベンチャー、スピンアウト)の起業や育成を後押しすべきではないか。
- 「サエ連携」を活用した新ビジネスの創出に当たり、ネックとなる規制の改革の後押しが必要ではないか。